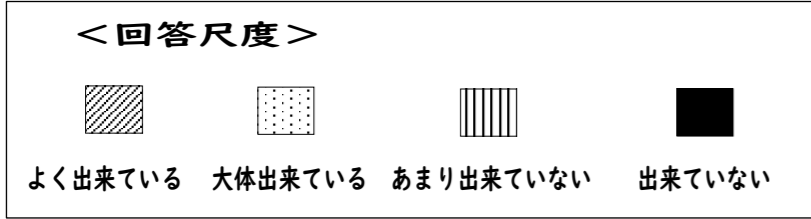


令和5年度（後半）

【学校評価アンケート結果について】

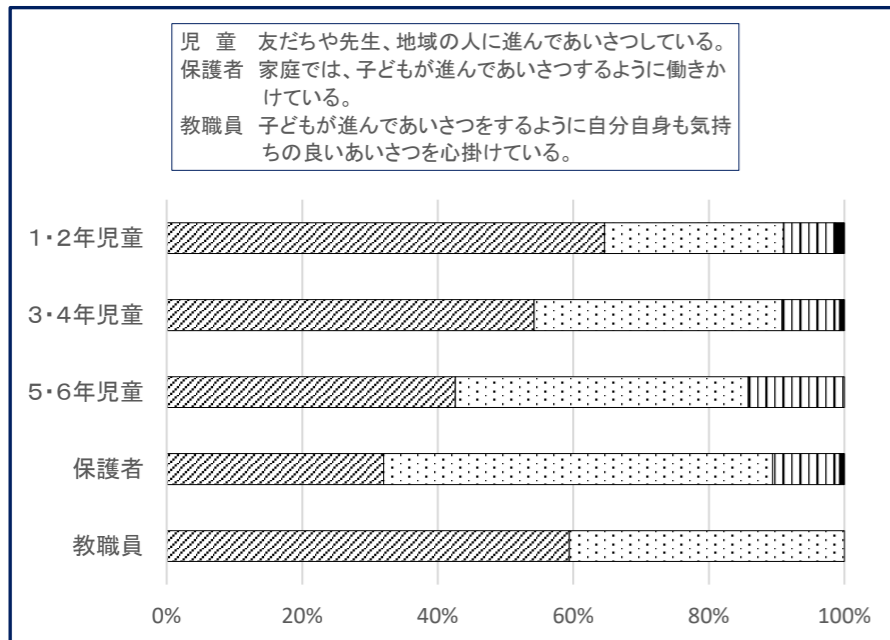
1月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。



このアンケートでは、本校の「目指す子ども像」に照らして、児童・保護者・教職員の視点から評価することを通して、日々の学校教育活動の成果と課題を見つめ、今後の改善の指針とさせていただきます。また「家庭・地域での子どもの様子」について調査することを通して、家庭・地域と学校との連携を深めていきたいと存じます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。

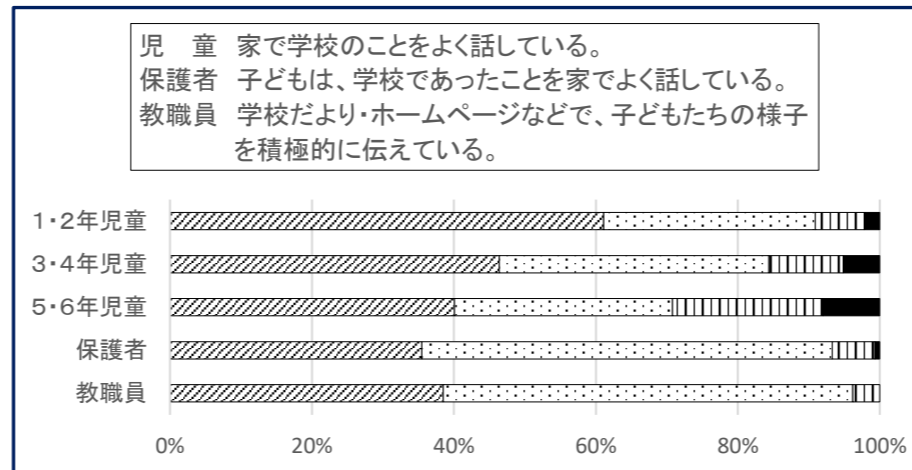
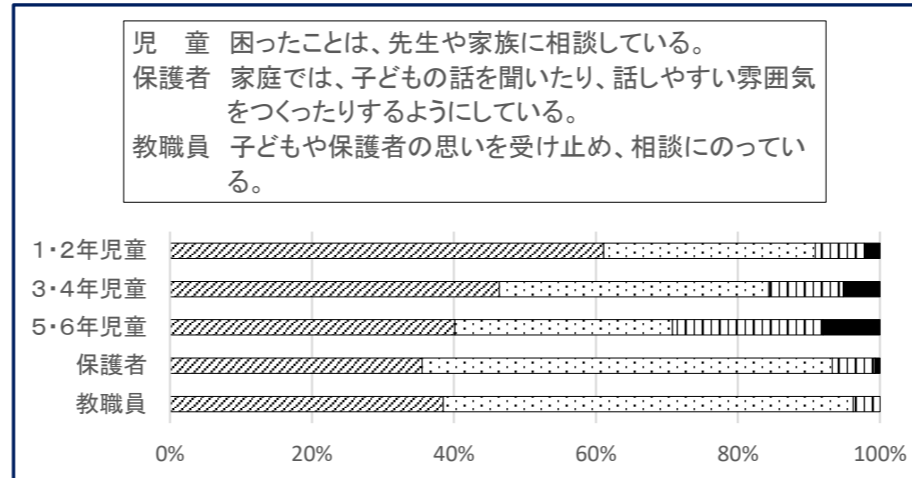
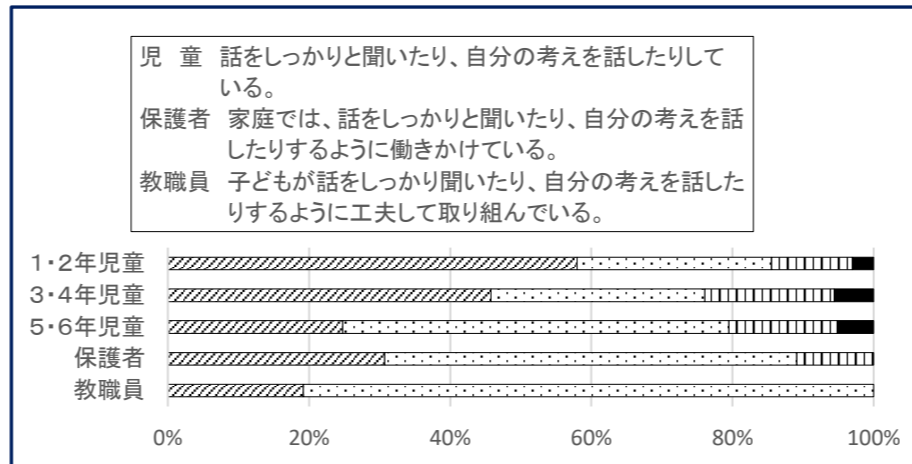
自分から素敵なあいさつができる子

『あいさつしている』という項目では、今年度前半と同様、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて85%以上の肯定的な回答がありました。毎朝、教職員が校門であいさつを続けていることで、自分からあいさつできる児童が増えてきてはいます。今では児童が自主的に校門に立ち、登校してくる児童にあいさつをしている子もいます。学校外であいさつしている姿が少ないという課題に対しては、登校時の児童のあいさつの様子をVTRで児童が見ることで、どんなあいさつが素敵なのか、あいさつについて考える機会をとりました。その結果、全学年の子どもたちが、その価値に少しずつ気が付いてきて、あいさつしようという思いが広がっています。今後もより素敵なあいさつが広がるよう児童・教職員共に取組を進めていきたいと思えます。ぜひ、今後もご家庭や地域で、素敵なあいさつを広げていただき、子どもたちが自分から進んで素敵なあいさつができるような働きかけをよろしくお願い致します。



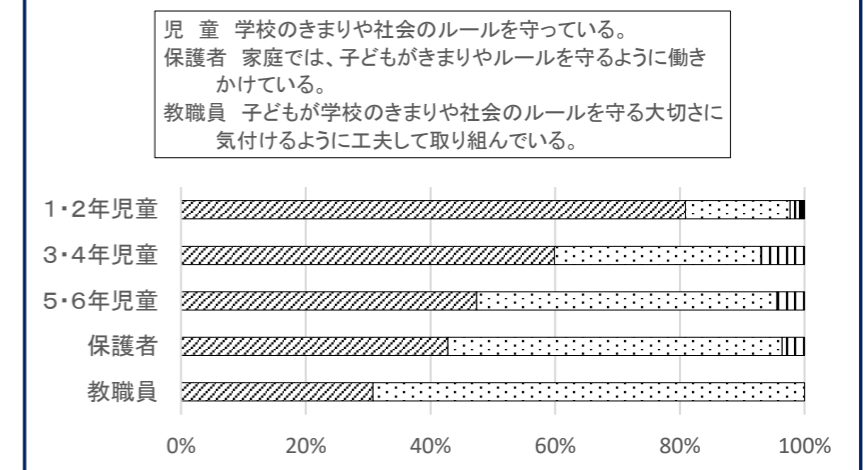
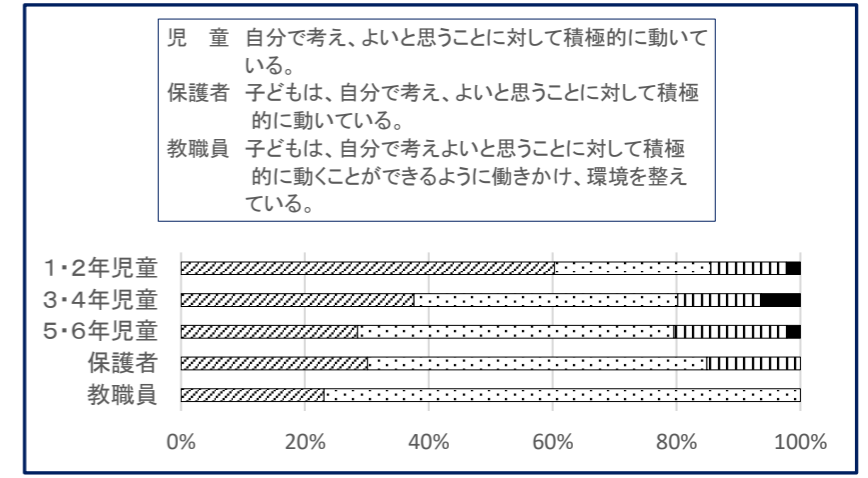
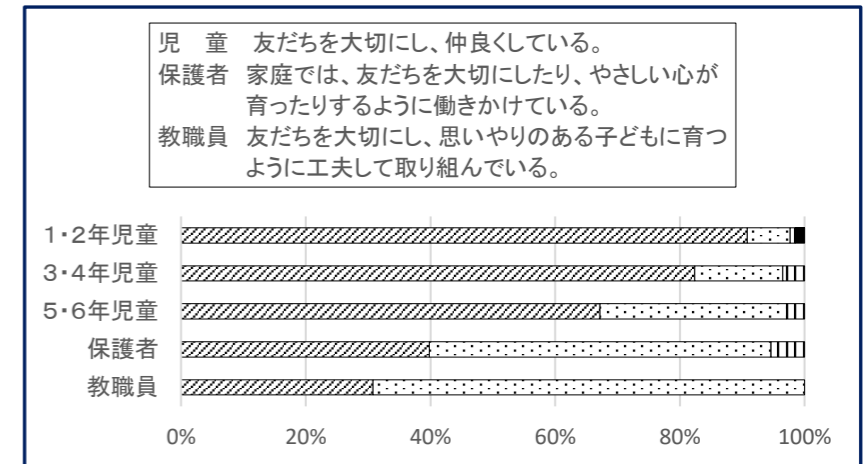
相手の思いを受け止めながら聞くことができる子

『話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりしている』では、保護者・教職員は90%以上「よく出来ている」「大体出来ている」という肯定的な回答で、今年度前半の結果よりも良くなっていました。しかし児童のアンケート結果では、中・高学年児童の肯定的な回答結果は、80%をきりました。このような結果から「自分の考えを伝えること」が課題として挙げられます。学級では、日頃から自分の思いや考えを話しやすい雰囲気をつくっておくこと、話し方を授業で学ぶこと、児童の事態に適した「話す・聞く」のポイント等を示した壁面掲示を準備し、視覚的に学べる教室環境をつくっておく、児童が自信をもち自分の考えを伝えることができるよう働きかけていきたいと思えます。また、教師も子どもの話を目と心で聴き、子どもが自分の考えを進んで話せるよう力を引き出していきたいと思えます。「話を聞く」については、多くの児童が聞こうとはしています。『困ったことは先生や家族に相談している』や『家で学校のことをよく話している』の項目では、大人は90%以上肯定的な回答に対し、困ったことを先生や家族に話せていないと思っている子がいます。学校では、子どもに寄り添ったり、話しやすい雰囲気をつくったりすることで子どもが「本当の自分を出せる」ような環境づくりに努めます。「今日楽しいことあった？」等良いことに向けた問いかけを行うことで、子どもが相談しやすく話しやすい環境づくりを構築していきたいものです。



自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動き出せる子

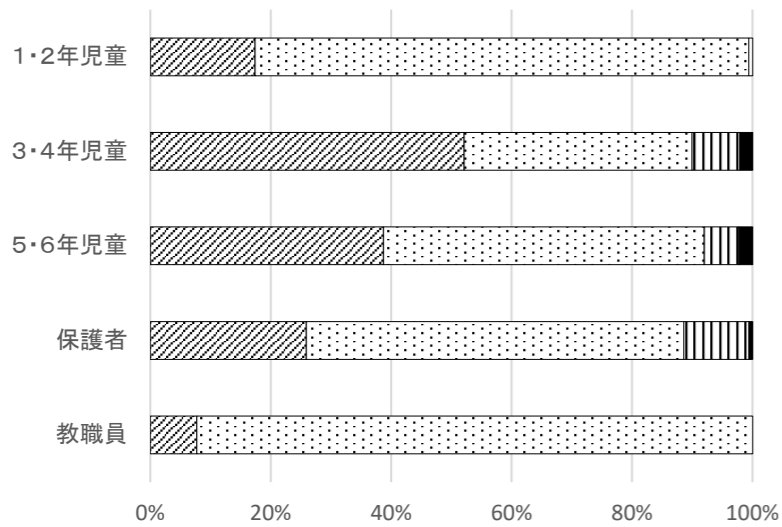
『友だちを大切に、仲良くしている』という項目では、今年度前半同様、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」が95%以上あり、高い水準でした。授業や人権教育の取組を中心に子どもたちがお互いのよさに気づき、ちがいの魅力に気付くような取組を進めてきました。これからは子どもたち一人一人、自分が大切にされている実感がわくような環境作りに努めていきます。『自分で考え、よいと思うことに対して積極的に動いている』という項目では、低・中・高学年・保護者・教職員は80%以上肯定的な回答があったものの、高学年では80%を少しきっておりました。学校では、児童会活動で子どもが活躍できる場を今よりも増やし、責任をもって活動できるような環境を整えていきます。『学校のきまりや社会のルールを守っている』では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせ、90%以上肯定的な回答がありました。安心・安全な生活を送るためには、きまりやルールを守ることが重要です。安心・安全な環境を整えることで、子どもたちが自信をもち「よいと思うことに対して積極的に動く」ことが増えていくと想像します。今後もご家庭では、子どもがきまりやルールを守っていけるよう働きかけていただくとありがたいです。



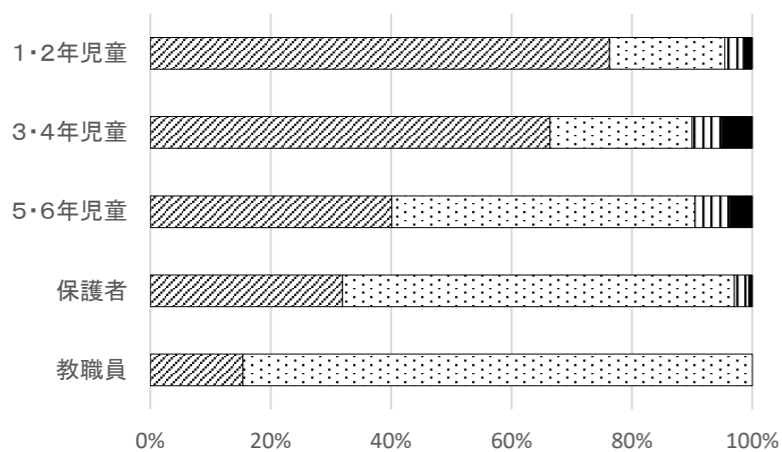
学び続けることができる子

『学校の勉強がよくわかる』という項目では、児童は「よく分かる」「大体分かる」で90%以上肯定的な回答をしていました。子どもたちがワクワクし、学ぶ楽しさを実感できる授業作りを意識して、取組を進めていきます。また、言語活動の充実を進めることで、児童同士が考えを交流し合い、主体的に問題解決している姿が増えてきました。今後も児童が自分から学びたいようになる授業改善に努めていきます。そして多くの子が「分かる授業」を目指します。『学校に楽しく通うことができる』という項目では、児童は「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせて90%以上「楽しい」と感じているようです。子どもたちは児童会活動やたてわり遊び等学年をこえて活動したり、今年度休み時間を少し長くしたりしたこと学校生活を楽しめている児童は増えてきています。今後もワクワクが止まらない魅力あふれる桂東小学校を目指し、子ども主体の学校づくりをさらに進めていきます。

児童 学校の勉強がよくわかる。
保護者 子どもは、学校の勉強を理解している。
教職員 一人ひとりに分かる授業を工夫している。



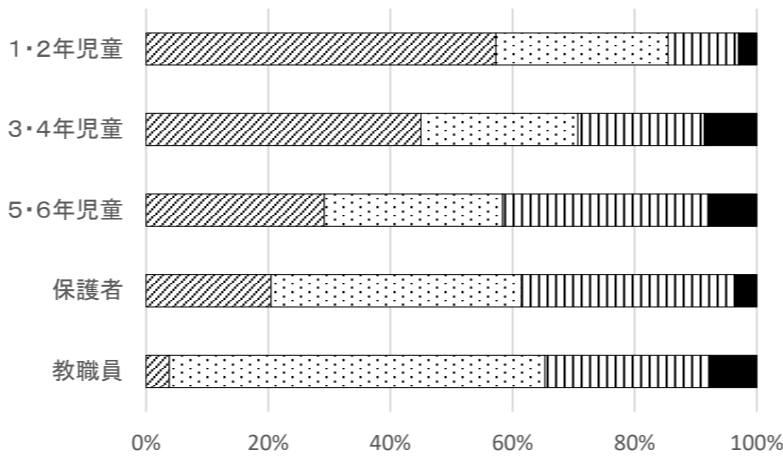
児童 学校に楽しく通うことができる。
保護者 家庭では、子どもが楽しく学校に通うことができるように働きかけている。
教職員 子どもが楽しく学校に通うことができるように工夫している。



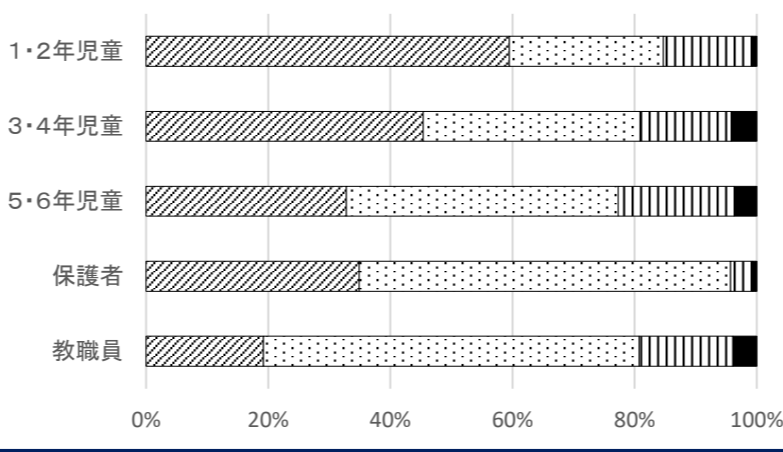
学び続けることができる子

『自分から進んで読書に取り組んでいる』という項目では、低学年の児童は80%以上の肯定的な回答でした。学校では、読書週間を中心に子どもたちに読書の興味・関心を高めようとしているものの、まだまだ自分から進んで読書をしようとする姿にはつながっていないとアンケート結果から読み取ることができます。今後は読み聞かせをしたり、お話を映像で見せたり、お話を音声で聞かせたり工夫することで本に対する興味を高めたいと思います。『家庭学習に取り組んでいる』という項目では、今年度前半同様、児童は学年が上がるにつれて、「あまりできていない」が増えている傾向が見られました。高学年では、放課後、習い事等で忙しく、時間がないことも考えられます。進んで家庭学習に取り組めるようになるためには、宿題の内容や量、提出期限を工夫し、児童が家庭学習に取り組みやすくなるようにしていきたいと思います。ご家庭と学校が協力しながら宿題・家庭学習を進めていきたいです。よろしくお願ひします。

児童 自分から進んで読書に取り組んでいる。
保護者 家庭では、子どもに進んで本を読むように働きかけている。
教職員 本が好きな子どもに育つように工夫して取り組んでいる。



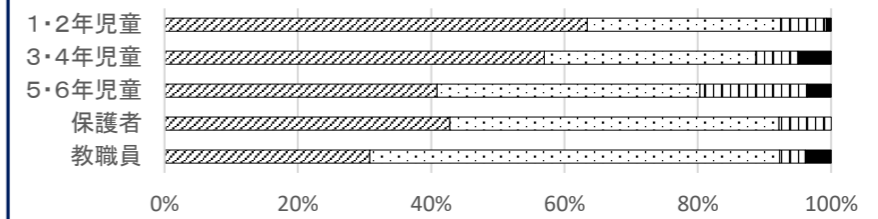
児童 宿題等で家庭学習に進んで取り組んでいる。
保護者 家庭では、宿題や家庭学習の習慣が身につくように声をかけたり、励ましたりしている。
教職員 宿題や家庭学習の習慣が定着するように工夫して取り組んでいる。



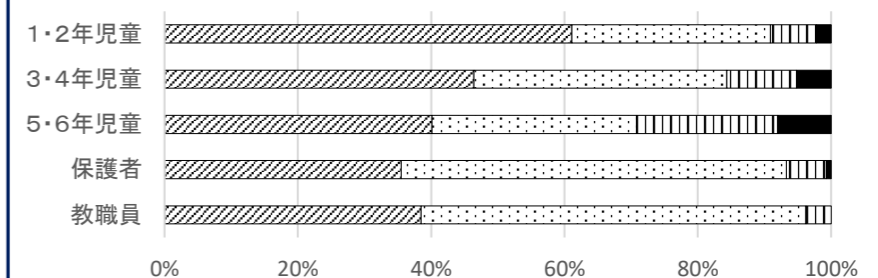
家庭・地域での子どもの様子

『早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している』という項目では、「よく出来ている」「大体出来ている」が全学年80%以上肯定的な回答でした。また、年齢が上がるにつれて肯定的な回答が下がっていく傾向が見られました。学校では、今後も保健便りや給食便り「もぐもぐ」等で児童に健康的な生活習慣について考える機会を設けます。子どもも大人も、日々体調が良く、生き生きと生活したいものです。ご家庭でも生活習慣について話題にもらえるとうれしいです。『PTA行事や地域行事に進んで参加している』という項目では、保護者や教職員は、今年度前半同様「よく出来ている」「大体出来ている」が90%以上肯定的な回答でした。児童については、学年でばらつきが見られました。今年度の秋に実施された桂東学区民体育祭や桂川ふれあい祭りでは、たくさんの児童が参加していました。子どもたちが今後も地域行事等に参加することを通して、地域のつながりを深め、ご家庭・地域・学校が一体となって桂東小の子どもたちを育てていきたいです。

児童 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している。
保護者 家庭では、早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身につけられるように働きかけている。
教職員 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけた生活ができるよう取り組んでいる。



児童 PTA行事や地域行事に進んで参加している。
保護者 子どもは、PTA行事や地域行事に進んで参加している。
教職員 PTA行事や地域行事に協力しようとしている。



総括

全体の傾向としては、今年度前半のアンケート結果と似ていました。結果に対する分析から、子どもたちが自信をもち、自分から動き、「できている」「できた」という充実感・達成感をより実感することが必要です。桂東教育として、子どもたちがワクワクし、「自分から取り組みたい」という思いがもてるような環境づくりを児童と共に進め、努めてまいります。そして自信をもった高学年の姿が下級生のあこがれとなり、魅力ある学校づくりにつながると考えています。自由記述欄では、子どもたちの成長を願い、学校に対する期待を含めた温かいお言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。